

入局者自己紹介



中村 利彦

出身大学：
名古屋市立大学卒業年：
昭和 62 年初期研修病院：
埼玉医科大学
総合医療センター

卒業年が昭和での入局者自己紹介とは、正直何とも言えない気持ちであります。

大学卒業後そのまま上京して、埼玉医大総合医療センター小児科に入局し、新生児慢性肺疾患の分類構成にまず従事させていただいたことをきっかけに、当時は研修終了次第母校に戻って生化学を志す予定であった路線を180°変更する結果となり、以後35年、新生児医療にはまって参りました。

現在の都立小児総合医療センターの前身である八王子小児病院にて、新生児医療と並行して小児循環器の門を叩かせて頂き、大学では新生児と循環器の二刀流で明け暮れました。恩師の死去に伴い大学を離れた後は、一般クリニックの雇われ院長→国立病院での周産期センター構築→東海大学での准教授としての総合周産期センター運営などを経て、武蔵野日赤新生児科にて現在に至ります。周産期は当院で自分としての終焉を予定しています。武蔵野日赤は約3年後に新病棟が出来上がります。NICUおよびGCUの設計には、スタッフのそれぞれの意向を盛り込んだ、現在出来得る最良の地域周産期センターが建設されることが期待されます。総合周産期センターが側近に2施設ある中、当院の地域周産期センターの果たす役割を見極め、母子にとっても、スタッフにとっても充実した医療が展開できるようにしてゆきたいと思っております。医科歯科大学病院、土浦協同病院、および川口市立医療センターの各周産期センターとは若干異なる立場ではありますが、医局員の若手の医師に魅力的な経験ができるようにない知恵を振り絞って精進してまいります。一人でも多く先生方が新生児医療の魅力に触れることができるような環境を整えて参ります。



伊良部 仁

出身大学：
金沢大学卒業年：
平成 25 年初期研修病院：
金沢大学附属病院

2021年度より入局させていただきました伊良部仁（いらぶひとし）と申します。顔と名前からは南の出身と思われるがちですが、隣の千葉県出身です。出身大学は金沢大学で、卒後9年目です。初期研修を福井県済生会病院と金沢大学附属病院で行いました。卒後8年目に大学院を卒業した後、縁あって東京医科歯科大学小児科でお世話になることになりました。

幼少期に腎疾患に罹患したこと、素晴らしい小児科主治医に恵まれたことに大きく影響を受け、良い小児科医になることを人生の目標に日々もがいております。「良い小児科医」の定義は難しいと思いますが、臨床・研究・教育ができる、赤ちゃんから大人まで適切に関わることのできるオールラウンダーな医師を目指しております。欲張りとは思いますが、体現している先生が東京医科歯科大学小児科には多くおられ、刺激的な毎日を送らせていただいております。

私は膠原病グループに所属しております。当領域では生物学的製剤を中心に治療の進歩が爆発的に進んでおります。前任地では腎臓・膠原病・消化器疾患診療グループでしたが、どの疾患群も突き詰めていくと臨床免疫学の観点で物事を考え治療を組み立てていく領域であり、その奥深さに興味を抱きました。東京医科歯科大学小児科は免疫学の聖地とも言える場所であり、たくさん学びたいと考えています。

人見知りな私ですが、医局の諸先生方・スタッフの方々のおかげでのびのび仕事をさせていただいております。一秒でも早く慣れて、臨床・研究・教育に貢献できるように精進していきます。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



小笠原 啓祐

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
青梅市立総合病院

はじめまして。小児科に入局しました小笠原 啓祐と申します。

私は幼少期にアフリカのジンバブエという国に住んでいました。日本と大きく異なる生活圏で育った経験から医療体制の重要性を実感し、将来的に発展途上国での医療活動に興味を持っています。大学在学中から途上国の現場に行ったり医療活動経験者の話を聞いたりした中で、多くの途上国で共通する医療問題の一つとして乳幼児死亡率が高いことが挙げられます。問題点の背景には本人や母親の身体的な疾患のみならず、インフラストラクチャーをはじめとする生活環境や社会福祉のサポート体制の欠如など複合的な問題を含有しており、そのような中で行う医療には臨床面での医学的専門性はもちろん、あらゆる訴えに対応する柔軟さや公衆衛生的なマインドも必要であると考えました。

小児科は、表出される症状だけでなく、本人そして家族を広く深くケアすることで「生涯における最初の大切な十数年」の包括的な臨床を担いつつ、ワクチン接種や母子保健といった社会保障政策とも関わりの深い診療科だと感じています。Generalかつ専門性も追求し、公衆衛生としての物の見方を持った小児科医になれるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。まだまだ未熟ではありますが一生懸命努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。



折本 竜太

出身大学：
金沢大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京女子医科大学
八千代医療センター

初めまして。東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました、折本 竜太と申します。出身大学が金沢大学ですが、出身地が千葉ということもあり、初期研修は千葉県八千代市にある東京女子医科大学八千代医療センターで行いました。自分の病気の影響もあり、小児科と接する機会が多い影響もあり、医師を志した時から小児科を希望していました。初期研修先で様々な科をまわり、成人の医療での面白さも学びましたが、子供を多角的な角度から全般的に診る、という小児科独特の視点があるとの気づきもあり初志貫徹で小児科を選びました。

後期研修1年目では東京北医療センターで乳児検診や予防接種を始めとした地域に根差した小児医療から、common diseaseの診療、新生児の一般管理など幅広い領域に触れながら小児医療を学ぶことができました。各領域の専門の先生が在籍されており、困ったことがあればすぐに相談できる環境も安心できると同時に非常に勉強になりました。

今年の四月からは都立墨東病院で勤務しております。COVID-19の患児も多く受け入れており、活発なERで多くの経験を積んでいると実感しております。また、地域の違いによる雰囲気の違いも興味深いものがあり、楽しく仕事をさせていただいています。

まだまだ経験不足、知識不足を痛感する毎日が続いていますが、子供とその家族が安心できるような小児科医になれるように日々精進していきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



黒岩 尚之

出身大学：
浜松医科大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

2021年度に入局いたしました、黒岩 尚之と申します。

これから小児科医として先生方には様々な場面でお世話になることと存じますので、何卒宜しくお願い致します。

出身は埼玉県で、出身大学は浜松医科大学になります。卒後は東京医科歯科大学プログラムで初期臨床研修を行っておりました。

現在は土浦協同病院プログラムで小児科専攻医として研修中です。小児科専門研修の中で小児科・新生児科領域の幅広い診療に触れ、小児科医としての様々な経験を深めていきたいと考えております。

将来的には小児神経領域や児童精神領域に関心がありますので、専門領域(サブスペシャリティ)として研修を行っていただければ幸いです。

趣味は音楽鑑賞で、大学では軽音楽部と合気道部に所属しておりました。軽音楽部ではベースを担当していましたので、また機会があればバンド演奏などもしたいと思っています。音楽は特定のジャンルに限らず色々なジャンルを聴くのが好きなので先生方からもぜひおすすめ曲などを教えていただけたら幸いです。大学卒業後は合気道の稽古はなかなか行えていませんが、とても体がほぐれてリラックス効果も高いのでまたいつか合気道の稽古も再開できたらと思っています。先生方で合気道をしている方がいらっしゃいましたらぜひ稽古などをお誘いいただけましたら幸いです。

現在は土浦協同病院を中心に臨床研修を行っており、他施設の先生方とお会いする機会が少ない状況ではありますが、勉強会や学会・医局会などで他施設の先生方とお会いできますことを楽しみにしております。

今後も先生方には様々な場面でお世話になることと存じます。ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。



瀧澤 千絵子

出身大学：
神戸大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
日本大学医学部附属板橋病院

令和3年に入局させていただきました瀧澤 千絵子と申します。

私は東京大学理学部生物化学科を卒業し、理学系大学院に進み理学博士号を取得した後に生命科学の基礎研究をしていました。そんな中、臨床をやってみたくという思いが徐々に大きくなり、当時住んでいた神戸市の神戸大学医学部に入学しました。卒業後は実家のある東京へ移り、日大板橋病院で初期研修をしました。小児科は忙しそうなので無理かなという思いもありましたが、初期研修中の小児科での研修が楽しく、小児科に進むことを決めました。医科歯科小児科のアカデミックな雰囲気が魅力的で、入局させていただきたいと思いました。高齢で子供が3人いる状況での入局でしたが、このような異端の私を受け入れてくださったことに本当に感謝しています。

後期研修1年目の前半は大学、後半は川口市立医療センターNICUで、2年目は川口市立医療センター小児科で研修させていただいています。大学では各診療グループで多くの先生のご指導を受けることができ、専門的かつ集学的な医療を勉強できました。川口NICUでは数多くの手技を経験できて本当に楽しく、また全身管理の経験を積むことができ大きな自信となりました。やや変則的なローテーションであったので、後期研修2年目で一般小児診療にはじめて触れることになり、現在は日々ひとつでも多くの症例を経験して、一人前の小児科医になれるよう日々研鑽を積んでいます。病気のみを診るのではなく、常にその子の成長・発達についても考慮しながら診察するのが小児科の魅力だなと実感しています。今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。



田中 里奈

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

令和3年度に入局しました田中 里奈（さとな）です。東京都出身で、学生時代はプラスバンド部（フルート）、ハンドボール部に所属していました。趣味はお菓子作りです。ステイホームをきっかけにパン作りも始めました。

もともと子どもが好きで小児科に進むことは選択肢の一つとして考えていました。大学で勉強していると、小児は成長しながらさまざまな機能を獲得すること、自分が健康で大人になれたことに驚くほどの疾患の多様さ、成人と異なり合併症が少なく病態を考えやすいことを知り小児科に興味を持ちました。大変な診療をしながらも笑顔で患者さんに接している先生方を見て自分もこの一員になりたいと思うようになりました。

初期研修1年目は土浦協同病院で、2年目は大学病院で過ごしました。患者層の異なる施設で研修したことで小児科診療の奥深さを実感しました。特にあおぞら診療所での研修は、入院生活を終えた患者さんとご家族の日常生活を垣間見ることができ印象に残っています。

専攻医1年目は土浦協同病院に戻り、小児科・新生児科の先生方には手厚いご指導をいただき感謝しています。小児科では幅広い疾患の診療に翻弄されながらも総合医としての役割を学びました。新生児科では重篤な状態にあった赤ちゃんが元気に退院していく姿を見届けることが何よりの喜びでした。専攻医2年目7月からは草加市立病院でお世話になっています。改めて小児科の魅力は子どもたちの成長と発達を見守ることだと感じています。そして患者さんとご家族のために日々全力を尽くす先生方を尊敬しています。これからも子どもたちの未来のために努力して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。



西山 洋平

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

令和3年度に入局させて頂きました、西山 洋平と申します。

物心ついて以降は横浜市で育ちましたが、生まれは広島県竹原市という縁もありカープファンを生業としております。趣味は音楽で、学生時代は野球観戦とバンド活動、ライブ通いに明け暮れていました。

いろいろと思い悩む思春期を過ごしたことから、同じように悩む子供たちのそばにいられる存在になりたいと思ひ、小児科医を志し医学の道に入りました。

初期研修は、1年目は青梅市立総合病院、2年目は東京医科歯科大学医学部附属病院で研修いたしました。初期研修1年目は1年間を通して小児救急の研修を行い、小児科診療の楽しさを知りました。初期研修2年目では大学で小児科を計6か月ほどローテートさせて頂き、専門性の高い疾患や、治療に難渋する患者さんに多く触れることで、小児科診療の奥深さや陰しさを学びました。

学生実習や初期研修を通じて、患者さんの人生に対して真正面から向き合う血液腫瘍分野に興味を持ち、出身大学でもある東京医科歯科大学小児科に入局を決めました。

後期研修1年目は土浦協同病院で新生児科と小児科を半年ずつ研修いたしました。後期研修の2年目では引き続き土浦協同病院小児科で研修をさせて頂き、後半では大学での研修を行う予定となっております。右も左も分からないゼロからのスタートでしたが、指導医の先生方の手厚いフォローと御指導の下でなんとかやっていけております。自らの浅学さを痛感するとともに、自分の決めた治療方針で子供たちが元気になっていく様をみて、小児科のやりがいを実感しています。

勉強不足で至らぬ点は多々あると存じますが、少しでも早く小児科医として成長できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



橋本 小百合

出身大学：
杏林大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
立川病院

初めまして、令和3年に入局させていただきました橋本小百合と申します。

後期研修1年目は墨東病院、後期研修2年目は武蔵野赤十字病院で研修させていただいております。

私は中学生の時に親友を亡くしたことがきっかけで、医師を目指そうと思いました。中学生の私には、現実を受け入れる事が非常に困難であった事を今でも覚えています。親友のような子や、親友の家族、自分のような思いをする人を少しでもなくしたいと思う気持ち一心で、中学～現在まで過ごして参りました。

東京医科歯科大学小児科の入局は、初期研修で知り合った先輩から医科歯科小児科の魅力を教えていただいたことがきっかけでした。教育熱心な先生が多く、また国内留学も盛んであり、充実した小児科研修が送れると考え、入局させて頂きました。

後期研修1年目の墨東病院は、common diseaseから救急・集中治療疾患、在宅調整まで幅広く経験させていただきました。現在研修している武蔵野赤十字病院では、サブスペシャリティが豊富であり、墨東病院では経験できなかった血液疾患やアレルギー疾患、内分泌疾患などが勉強でき、刺激的な日々を過ごしております。勉強不足で至らぬ点もありますが、先生方にご指導いただき大変感謝しております。また子供達の成長や治療経過を見届けることができ、改めて小児科医になって良かったと感じております。

将来の専門分野に関しては、どの分野も魅力的であり未定ですが、研修を通して決めていきたいと思っております。今後にご迷惑をたくさんかけるとは思いますが、一生懸命頑張っ参りますので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



林田 悠里

出身大学：
群馬大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました林田 悠里と申します。初期研修は東京医科歯科大学の周産期プログラムで、1年目は土浦協同病院、2年目は大学で研修いたしました。医学部を志した高校生の頃から周産期医療に興味があり、もともとは産婦人科医を志望しておりました。しかし、初期研修での小児科の診療を通じて、子どもたちの成長・発達をみることができると魅力を感じ、小児科への入局を決めました。

後期研修1年目は川口市立医療センター小児科で研修させていただきました。右も左も分からない中、先生方にはご迷惑をかけるばかりでしたが、しっかりとフィードバックをいただきながら丁寧なご指導と貴重な勉強の機会をいただけたことは自分の中での財産になりました。

2年目の現在は、川口市立医療センターの新生児科で勤務させていただいております。小児科の診療とは異なる新生児の管理に戸惑う私に対して、先生方はあたたかくご指導してくださり、非常に実のある研修生活を送らせていただいております。恵まれた環境で勤務できることに感謝するとともに、教えていただいたこと一つ一つを今後の診療に生かしていく所存です。

まだまだ未熟ですが、残りの後期研修を通して、日々精進していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



引間 叡孝

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

東京医科歯科大学出身の引間 叡孝です。大学在学中にはプロジェクト Semester にて、森尾先生・鹿島田先生をはじめ、多くの先生方にお世話になりました。引き続き、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2019年より東京医科歯科大学プログラムで臨床研修を経験させていただき、1年目は北信総合病院(長野県中野市)、2年目は東京医科歯科大学病院にて勤務いたしました。3年目以降は川口市立医療センター小児科にて外来・病棟勤務を行っております。また、10月以降は同院 NICU科にて勤務・研修を行う予定です。

未熟な身でできることを探しつつ尽力する毎日ですが、様々な背景・家庭をもつ患者様、多様な症例、そして諸先生方のご指導・バックアップのもと、充実した学習をさせていただいております。特に、小児の発達障害に対する対応・支援や、心身症を含む身体障害など、心理発達の分野にも関わらせていただいております。今後も追究を続けさせていただければと考えております。

プライベートな事項ではありますが、元々出不精な性格であることに加え、新型コロナウイルス流行以来の自粛の風潮も重なりめっきり外出の機会が減っていることを自覚しておりますが、小児科医局の諸先輩方や同年代の皆さんともぜひまた交流できればと思います。今後機会がありましたら、ぜひお声がけいただけますようお願いいたします。



舟木 孝充

出身大学：
富山大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
成田赤十字病院

小児科専攻医2年目の舟木 孝充です。生まれは千葉県佐倉市で、富山大学を卒業しました。初期研修は成田赤十字病院であり、東京医科歯科大学とは全く無関係の人生を歩んでいました。東京医科歯科大学の小児科医局に所属させていただいた理由としては、大規模な医局で、人員も多く、指導熱心な雰囲気もあり、自身を成長させる場としてこれ以上ない環境だと考えたからです。

専攻医1年目は川口市立医療センターに所属していました。特に最初の数ヶ月は何もわからず困ることが多かったのですが、優しい先輩方や上級医の先生方に熱心に指導して頂き、なんとか乗り越えました。川口市立医療センターで特に印象に残っているのは、外来で発達障害の患者さんを担当したことです。学生や初期研修の時には触れたことがなく、小児科特有の疾患であり、小児科医になったと実感しました。

専攻医2年目は土浦協同病院で働いています。土浦協同病院には神経、循環器、腎臓など様々な分野の専門医が勤務しており、多彩な症例を経験できます。4月からの3か月間は腎臓チームに所属していました。腎臓チームでは難治性ネフローゼ症候群や神経因性膀胱、高度 VUR など経験させていただき、ほとんど小児腎臓疾患を経験したことがない自分にとって大変勉強になりました。

将来の専門は、今のところアレルギーが第一候補です。外来でも、食物アレルギーや喘息など担当している内に興味がでてきました。小児の食物アレルギーや喘息は年齢とともに良くなることも多く、本人ご家族とともに喜びを共有できればよいと思います。

まだわからないことも多く未熟ですが、温かい目で見ただけであれば幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



若月 良介

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 31 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

令和3年度に入局させていただきました、若月 良介と申します。

千葉県浦安市出身で、高校も渋谷教育学園幕張高校と千葉県から出ない生活をおくっておりました。東京医科歯科大学に一浪ののちに入学しましたが、1年目は千葉県市川市のキャンパスで東京に出れずがっかりした思い出もあります。

医師を志してから漠然と周産期医療に興味があり、在学中に発生発達病態学教室で研究をさせていただく機会に恵まれました。その際に免疫不全症に関する研究に携わらせていただき、免疫分野や遺伝疾患などに興味を持ちました。また臨床実習を通して、基礎医学と臨床医学をつなぐ診療を行っている医科歯科の小児科に憧れをもち、入局させていただきました。

初期研修は東京医科歯科大学の周産期プログラムで研修させていただき、1年目は土浦協同病院、2年目は大学で研修をさせていただきました。土浦では一般小児を、大学では各グループをそれぞれ研修させていただき、多くのことを学ばせていただきました。特に2年目では、あおぞら診療所の研修や成育医療研究センターでの研修など、このプログラムならではの貴重な研修をさせていただきました。

後期研修1年目は東京ベイ・浦安市川医療センターで、2年目は千葉市立海浜病院にて研修をさせていただいております。どちらも千葉県にある病院で、出身地に出戻るような不思議な感覚をもちながら、周りの先生方に支えられ充実した研修をさせていただいております。

まだまだ至らぬ点多いとは存じますが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。